

秋雨前線の南下による大雨に係る関係課長会議

【日 時】 令和6年9月20日（金）午後16時30分～

【場 所】 島根県庁6階 防災センター室

【次 第】

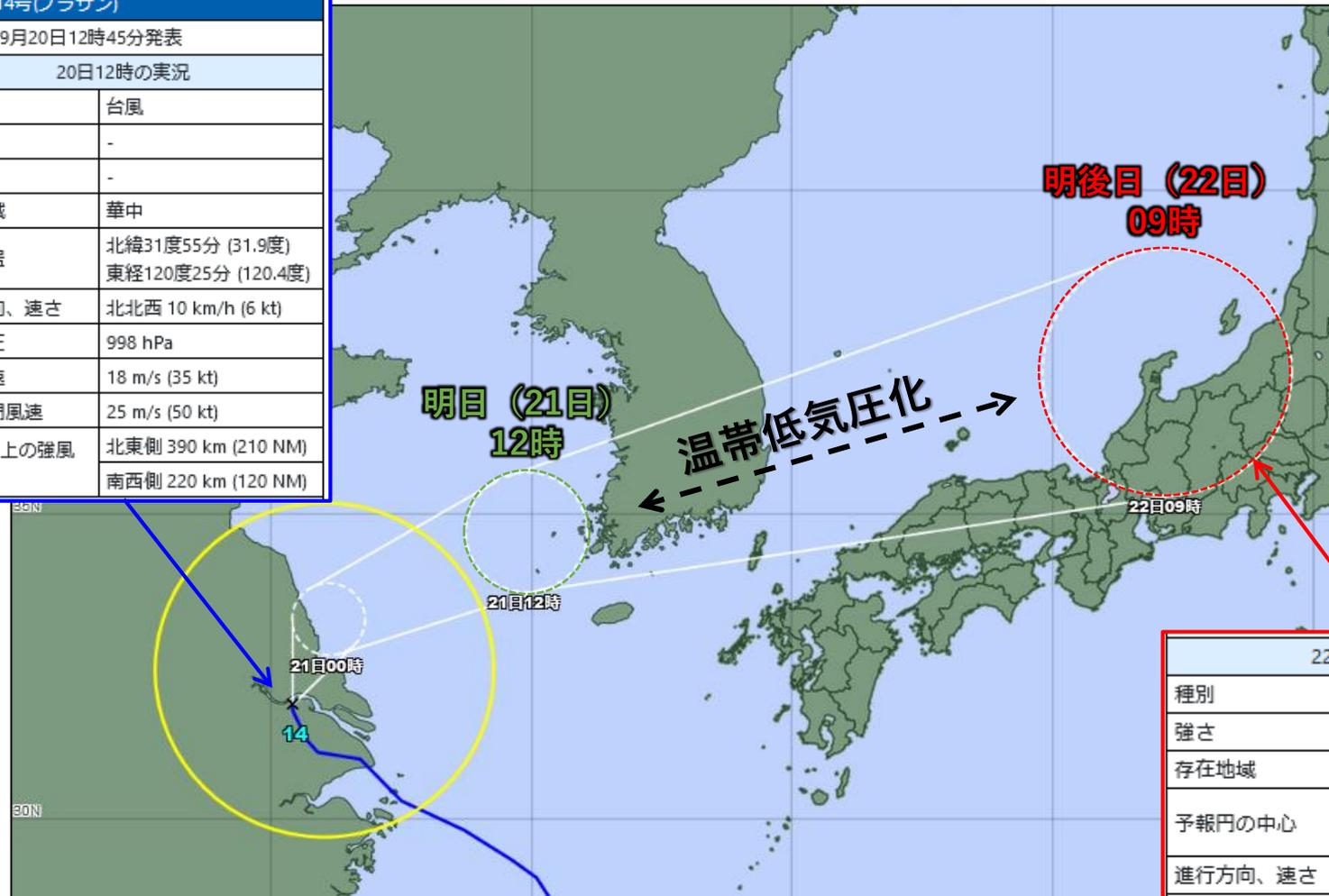
1. 今後の天候の見通しについて（松江地方気象台）
2. 今後の対応について

1. 今後の天候の見通しについて

(松江地方気象台)

台風第14号 20日12時現在の進路予想

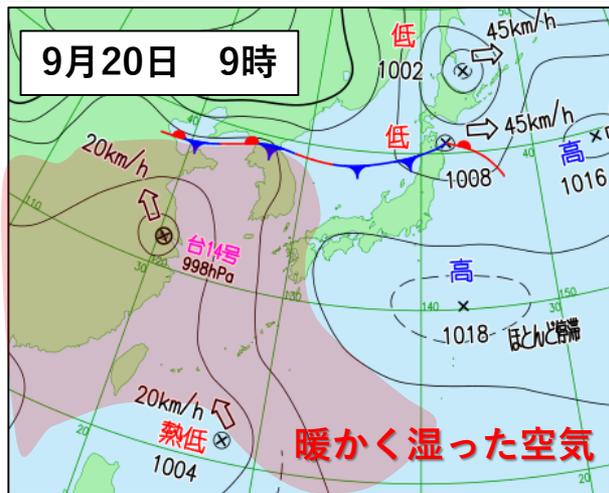
台風第14号(ブラサン)	
2024年09月20日12時45分発表	
20日12時の実況	
種別	台風
大きさ	-
強さ	-
存在地域	華中
中心位置	北緯31度55分 (31.9度) 東経120度25分 (120.4度)
進行方向、速さ	北北西 10 km/h (6 kt)
中心気圧	998 hPa
最大風速	18 m/s (35 kt)
最大瞬間風速	25 m/s (50 kt)
15m/s以上の強風域	北東側 390 km (210 NM) 南西側 220 km (120 NM)



22日09時の予報	
種別	温帯低気圧
強さ	-
存在地域	日本海
予報円の中心	北緯37度10分 (37.2度) 東経137度10分 (137.2度)
進行方向、速さ	東北東 50 km/h (28 kt)
中心気圧	992 hPa
最大風速	23 m/s (45 kt)
最大瞬間風速	35 m/s (65 kt)
予報円の半径	210 km (115 NM)

- ・ 台風の中心は必ずしも予報円の中心を進むわけではありません。
- ・ 予報円は70%の確率で台風の中心が入る範囲を表しており、台風の大きさの変化を表すものではありません。

9月20日の実況および予想天気図

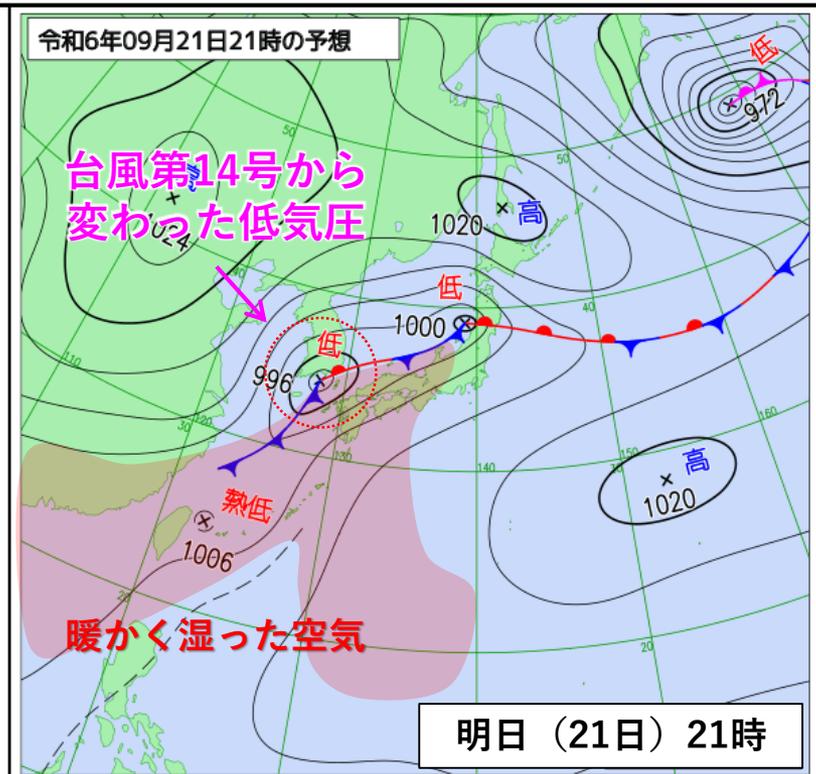
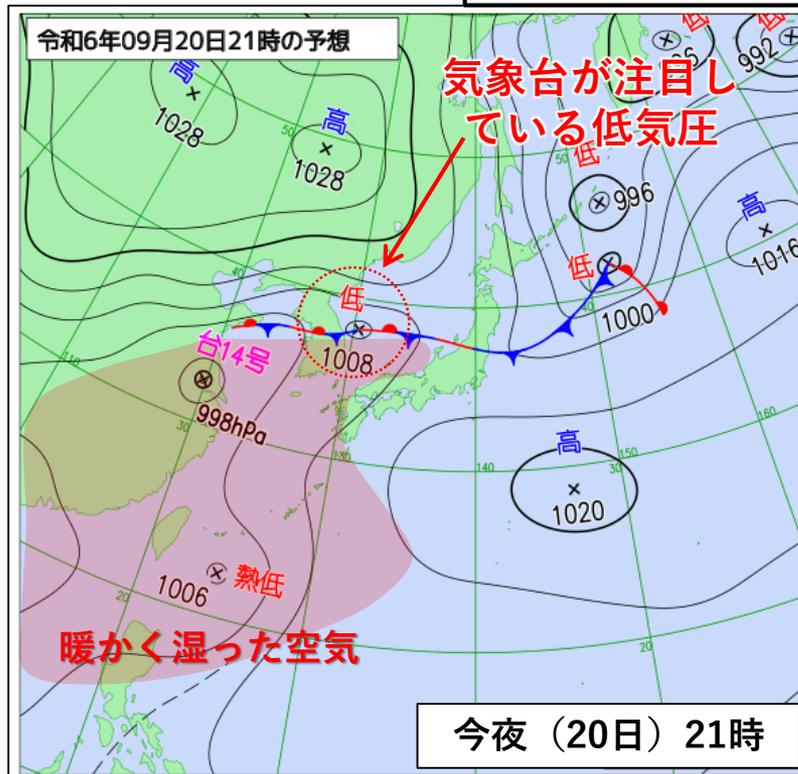


【今夜～明日】

- ・ 停滞前線上を低気圧が東へ進み、前線はゆっくりと南下
- ・ 台風や高気圧周辺の暖かく湿った空気が低気圧に流れ込む

【明日～明後日】

- ・ 台風第14号は東へ進路を変えて明日夜までには温帯低気圧へ変わる見込み
- ・ 台風起源の低気圧のため周辺にはもともと暖かく湿った空気を伴っている上、前線や前線上の低気圧に向かって、熱帯低気圧や高気圧から湿った空気が補給される



		20日				21日								22日				
		12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時	
		昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く					
大雨(浸水) (R1)	東部	15	20	20	10	1	1	5	10	15	20	30	30					
	西部	15	20	20	10	1	1	5	10	15	20	30	30					
	隠岐	10	10	20	20	10	20	30	30	30	40	40	40					
大雨 (土砂)	東部																	
	西部																	
	隠岐											注	注					
風 (メートル)	東部	陸上	8⇨	8⇨	5⇨	7↗	8↑	10↗	10⇨	10↗	10⇨	10⇨	10⇨	10↗	12↑			
		海上	8⇨	8⇨	8↑	8↑	10↗	15↗	15↗	15↗	15↗	15↗	15↗	15↗	18↑			
	西部	陸上	5↑	5↑	8↑	8↑	8↑	10↑	10↑	10↑	10↑	10↑	10↑	10↑	12↑			
		海上	7↗	7↗	9↑	9↑	12↗	15↗	15↗	15↗	15↗	15↗	15↗	15↗	18↑			
	隠岐	陸上	8⇨	8⇨	6⇨	8↗	8↗	12↗	12↗	12↗	12↗	12↗	12↗	12↗	12↗			
		海上	8⇨	8⇨	8↗	8↗	13↗	15↗	15↗	15↗	15↗	15↗	15↗	15↗	18↗			
波浪 (メートル)	東部	1	1	1	1	1	1.5	2.5	3	3	3	3	3					
	西部	1	1	1	1	1	1.5	2.5	3	3	3	3	3					
	隠岐	1	1	1	1	2	2.5	3	3	3	3	3	3					
雷	東部	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注					
	西部	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注					
	隠岐	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注					

警報級 注意報級

・1時間降水量	20日	21日
東部	20ミリ	30ミリ
西部	20ミリ	30ミリ
隠岐	20ミリ	40ミリ

- ・24時間降水量 (20日18時~21日18時)
 - 東部 60ミリ
 - 西部 60ミリ
 - 隠岐 120ミリ
- ・24時間降水量 (21日18時~22日18時)
 - 東部 80ミリ
 - 西部 80ミリ
 - 隠岐 120ミリ
- ・24時間降水量 (22日18時~23日18時)
 - 東部 30ミリ
 - 西部 30ミリ
 - 隠岐 10ミリ

・風	20日	21日
東部 陸上	8メートル	12メートル
海上	8メートル	18メートル
西部 陸上	8メートル	12メートル
海上	9メートル	18メートル
隠岐 陸上	8メートル	12メートル
海上	8メートル	18メートル
・波	20日	21日
東部	1メートル	3メートル
西部	1メートル	3メートル
隠岐	1メートル	3メートル

表中の数値は、それぞれの3時間内に予想される最大値を表示しています。
また、大雨(浸水)の数値は、それぞれの3時間内に予想される1時間降水量の最大値を表示しています。

今後の天候の見通しについて

前線および前線上の低気圧の接近・通過により、明日から明後日にかけて島根県では大雨となる見込み

- 台風第14号から変わる温帯低気圧に先行する形で、今夜～明日朝にかけて前線上を低気圧が東に進む予想で、**前線・低気圧に近い隠岐では明日朝から激しい雨が降る見込み。隠岐を中心に総降水量がまとまるおそれ**
- 前線は明後日にかけて中国地方を南下する予想で、**明日夜以降は島根県の広い範囲で激しい雨が降る見込み**
- ここ最近の不安定性降水で地盤の緩んでいる所があり、いつもより少ない雨で土砂災害の危険度が高まったり、降水のピーク後も土砂災害の危険度が下がらない可能性がある事に留意が必要

大雨による 浸水害・土砂災害・河川の増水 に十分注意

- 台風第14号から変わった温帯低気圧は中心気圧が低いいため気圧の傾きが大きく、強風や高波にも注意が必要
- 潮位の高い時期でもあり、高潮にも注意
- 台風起源の暖かく湿った空気が流れ込むため、大気の状態が非常に不安定となるため、竜巻などの激しい突風や落雷に注意

2. 今後の対応について

県道大社日御碕線 仮設迂回道路

異常気象時における通行規制について

県道大社日御碕線については、令和6年7月9日に発生した道路崩落に伴う全面通行止め以降、段階的に仮設迂回道路の整備を進め、現在の日御碕地区住民等の指定車両に加え、9月には一般車両（大型車両を除く）の通行が可能となります。

しかしながら、この崩落箇所におきましては、今後の降雨等により被害が拡大する恐れもあり、安全確保の観点から、異常気象時（下記の雨量基準を超過した場合）には、仮設迂回道路を全面通行止めとする運用を行いますのでご了承ください。

通行される皆様には、引き続きご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

規制基準：**時間雨量 30 mmまたは連続雨量 150 mm以上の降雨***を観測

※鷺浦雨量観測所または大社雨量観測所

規制内容：**全面通行止め**

規制区間：大社日御碕線仮設迂回道路 延長約 200m

規制の解除：降雨後、現地調査を行い、安全確認のうえ解除します。

◎ 日御碕地区の方には、防災行政無線で規制の開始・解除をお知らせします。

雨量の情報を知りたい方は、



島根水防情報システム

(<https://www.suibou-shimane.jp/pc/map/top.html>)

により、リアルタイムで確認できます。

通行規制の際にメールを受け取りたい方は、



道路規制メールにご登録ください。

以下のメールアドレスに空メールを送信して登録してください。

(info.shimane-pref-road@raidan2.ktaiwork.jp)

問い合わせ先：島根県出雲県土整備事務所

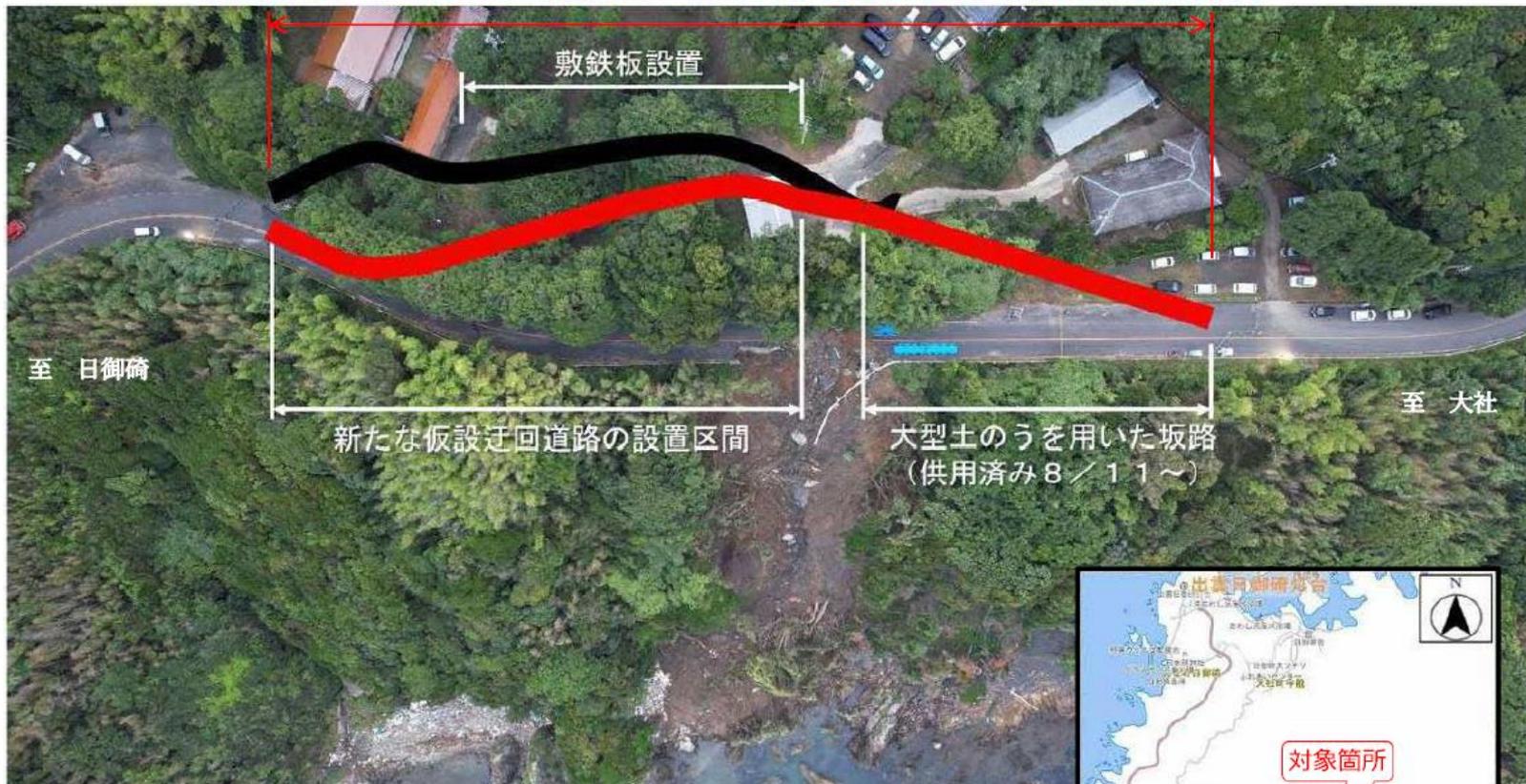
維持管理部管理第二課

電話 0853-30-5634

土木工務第一部土木工務第一課 電話 0853-30-5641

全面通行止め区間

時間雨量 30 mm または 連続雨量 150 mm 以上の際に全面通行止めとする区間



防 第 2 5 1 号

令和6年9月20日

各市町村長様
(防災担当課)

島根県防災部防災危機管理課長

秋雨前線の南下による大雨に対する警戒について

このことについて、今後の気象台が発表する警報、気象情報等に留意し、特に次の事項に注意し対応に万全を期するとともに、貴市町村内の関係機関に対しても、この旨を周知頂くよう併せてお願いします。

記

- 1 気象警報、土砂災害警戒情報、指定河川洪水予報、大雨警報・洪水警報の危険度分布などの防災気象情報等を収集し、住民等に対し早い段階から確実な情報提供を行うこと。
また、避難指示等発令時に円滑に避難できるよう避難場所を明確にし、住民等に周知すること。
防災気象情報等の伝達に当たっては、防災行政無線（同報系）、緊急速報メールを始め、マスメディアとの連携や広報車・インターネット（ホームページ、SNS等）・コミュニティFMなどの多様な伝達手段を活用し確実に伝達するとともに、安全な親戚・知人宅も避難先となり得ること等について住民の理解を促すこと。
- 2 避難指示等の発令の際は、以下の点に留意すること。
 - (1) 時機を失することなく、空振りをおそれずに躊躇なく発令すること
 - (2) 発令する際には対象者ごとにとるべき避難行動がわかるように繰り返し伝達すること。
 - (3) 避難指示等の発令は多様な伝達手段を活用し住民等へ確実に伝達すること。
 - (4) 避難が必要な状況が夜間、早朝となる場合は、努めて早い段階に、高齢者等避難（警戒レベル3）を発令し、特に要配慮者の避難時間を十分に確保すること。
 - (5) 高齢者等避難（警戒レベル3）の発令の段階で、主要な指定緊急避難場所を開設し始めるとともに、仮に開設を終えていなくとも、避難指示等の発令基準を満たした場合には、躊躇なく発令すること。
 - (6) 土砂災害は、突発的に発生し、発生場所や発生時刻の詳細を予測することが困難で命の危険を脅かすことが多い災害であることから、土砂災害警戒情報が発表された場合は、直ちに避難指示（警戒レベル4）を発令することを基本とすること。
 - (7) 「避難情報に関するガイドライン」（令和3年5月）に沿って、避難指示等に対応する5段階の警戒レベルを付して伝達するとともに、既に災害が発生している又は切迫している状況である際には、命を守るため直ちに身の安全を確保する必要がある段階であることを伝える「緊急安全確保」（警戒レベル5）を可能な範囲で発令すること。
- 3 避難指示等を発令した場合については、被害の有無に関わらず、総合防災情報システムなどを活用し、直ちに県など関係機関に報告すること。



**接近
3日前**

~2日前
(注意報など)

1日前~
(警報など)

県民等

- 最新情報を入手
 - ・テレビ、ラジオ、インターネットなど
- 事前の準備 (例)
 - ・強風に備えて、屋外にある物の飛散、破損を予防
 - ・停電等に備えて、電源や照明を確保
 - ・天候が悪化する前に、食料、飲料水、衛生用品等を準備

- 最新情報を入手
 - ・市町村の避難情報
 - ・気象情報
- 避難所への事前避難
- 天候の悪化、日没など状況が悪化する前に、安全を確保

状況悪化時に
少しでも安全な場所へ

県
・
市町村

事前準備

事前準備

警戒本部

連絡会議

災害対策本部

災害対策本部会議